

みなさん

4月26日(火)の教育委員会で、「よりよい練馬区の図書館をつくる会」の陳情が不採択となりました。よりよい会のメンバーは、この日に審議があるという情報をキャッチしておらず、傍聴に行きませんでした。

当会以外の複数の傍聴者のメモから得たものをまとめてお伝えします。

議長(教育委員会委員長 林 清氏)

光が丘図書館長より、委託化の資料が提出された。

陳情7号練馬区立図書館の委託化に反対し図書館の充実と発展を求める陳情書については、本日決めたい。

光が丘図書館長：資料を説明。

山崎委員：委託は時代の流れであり、基本的に賛成。業務委託実施計画案には、利用者の意見が反映されているのか。今後、利用者の意見を反映する方法を考えてやってほしい。

後藤委員：図書館には目安箱のようなものを置いているか。委託は時代の流れと考える。

光が丘図書館長：苦情や意見などはメールでくる。すべて回答している。

教育長：協力員についてはどうなのか。

光が丘図書館長：そのままとする。

教育長：人数はどうか。

光が丘図書館長：自然減となる。欠員は補充しない。

議長：それでは、一括五項目まとめて不採択とする。

以上、資料説明を含めて、約15分間であった。

傍聴していた人たちは、あまりにも内容のないそそくさとした審議による決定であったと、印象を語った。

次に、教科書採択の審議があり、関係陳情2本の読みあげがあったが、長文でそれぞれ15分間ほどかかった。その後、教科書採択についての委員会設置の議案に入るので、秘密会となり、傍聴者は退場を求められた。

私の感想。

一万筆の重みを持った陳情でした。

各図書館前で、みなさんで、利用者に訴えた署名です。

審議と不採択決定の場に立ち会えなかったのは残念でした。

昨年の教育委員会では、陳情7号は、利用者の思いをうけ慎重に審議をしたいという委員長の発言があったが、一転して「時代の流れ」、故に委託賛成という空気になったことに驚きました。

時代の流れを見きわめる、教育委員会であってほしいものです。

よりよい練馬区の図書館をつくる会としては、「こういう図書館を望む」を更に緻密なものにして、会則(まだ案ですが)の「目的：よりよい練馬区の図書館の実現を目指します。」の目的を達成するために、一步一步活動を進めて行くということになると考えます。

2005年4月27日 事務局長 関 日奈子